

## 京都スタジアム(仮称)実施設計等業務に係る 公募型プロポーザル方式評価基準

京都スタジアム（仮称）実施設計等業務に係る公募型技術提案（プロポーザル）募集要領に基づき、技術提案書の提出を求める者の選定及び委託候補者の選定を行うため、以下に掲げる事項について総合的に評価する。

### 1 技術提案書の提出を求める者の選定に関する評価項目【25点】

#### (1) 事務所の業務実績【4点】

本業務と同種業務の実績があるかどうか、実績内容・成果が本業務にふさわしいものか評価する。

#### (2) 管理技術者及び主任技術者の業務実績【18点】

担当チームの能力を、各担当技術者の資格・経験、業務実績で評価する。

なお、管理技術者及び意匠担当主任技術者については繁忙度を評価に加える。

#### (3) 京都府内に本店等を有するか否か【3点】

府内に本店がある場合を3点、府内に支店、営業所等がある場合を2点、上記以外を1点として評価する。

### 2 技術提案書の評価項目【75点満点】

#### (1) 提案課題に対する評価【各13点×4】

以下に掲げる4つの提案課題に対し、「的確性」「実現性」「独創性」の3つの観点から評価する。

#### 提案課題①

##### 環境にも人にも優しく、人に感動を与えるスタジアム

- ・ 近隣住宅地域への騒音、光害や近隣の地下水位等への環境影響を十分緩和する建築計画
- ・ ユニバーサルデザインに配慮した建築計画
- ・ 臨場感にあふれ、ダイナミックでハイレベルな観戦環境で人に感動を与える建築計画

#### 提案課題②

##### 景観と調和し、京都らしさを持つスタジアム

- ・ 亀岡の田園風景や山並みなど地域の景観と調和した意匠計画
- ・ 「おもてなし」の心が感じられる建築計画

### 提案課題③

#### 新しいまちのにぎわいに貢献するスタジアムの施設計画

- ・にぎわい施設計画を踏まえ、地域（亀岡市内外）にある文化、観光、教育資源と連携し相乗効果を生み出す施設計画

### 提案課題④

#### 建設コスト及び維持管理コストの縮減を図るための施設計画

（ 予定額の範囲内で、最大限施設内容を充実して高品質なスタジアムにする。その中で維持管理コストを低減する工夫を行うものとする。 ）

- ・敷地制限及び建設運搬経路を考慮した建設コストの縮減を図るための施設計画
- ・ライフサイクルコストの縮減を図るための施設計画

※ 3つの観点について

#### ①的確性

- ・提案内容について、データに基づいた論理的な説明がなされているか。
- ・仕様書等を的確に踏まえ、明確かつ具体的に提案されているか。
- ・業務を効果的・効率的に実施するための提案がなされているか。

#### ②実現性

- ・実施方法等が具体的で、かつ実現性があるか。

#### ③独創性

- ・提案者の知識や経験を活かした創意工夫が見られるか。

#### (2) 提案課題に対する全体的な評価【13点】

(1)を踏まえ、技術提案全体に対し上記3つの観点から評価する。

#### (3) 業務工程計画・動員人数の妥当性【5点】

工程毎に妥当な時間配分や動員が計画されているか評価する。

#### (4) 価格点【5点】

価格点＝満点（5点）×（提案価格のうち最低価格／自社の提案価格）

### 3 評価基準の各評価項目の評価方法と評価点の計算方法

評価基準の各評価項目の評価方法と評価点の計算方法については、別紙「京都スタジアム(仮称)実施設計等業務に係る公募型プロポーザル方式における評価基準の各評価項目の評価方法と評価点の計算方法」参照

## 評価項目及び配点

評価資料	評価項目	評価事項		配点			
参加 表明書	担当チームの能力	事務所の業務実績		4	4		
		管理技術者	資格・経験		2	5	
			業務実績		2		
			繁忙度		1		
		主任技術者	意匠	資格・経験		2	7
				業務実績		3	
				繁忙度		2	
			構造	資格・経験		1	2
				業務実績		1	
			電気	資格・経験		1	2
	業務実績			1			
	機械	資格・経験		1	2		
		業務実績		1			
	府内企業				3		
	小 計				25		
技術 提案書	提案課題に対する全体的な評価		的確性	5	13		
			実現性	6			
			独創性	2			
	提案課題① 環境にも人にも優しく、人に感動を与えるスタジアム		的確性	5	13		
			実現性	6			
			独創性	2			
	提案課題② 景観と調和し、京都らしさを持つスタジアム		的確性	5	13		
			実現性	6			
			独創性	2			
	提案課題③ 新しいまちのにぎわいに貢献するスタジアムの施設計画		的確性	5	13		
			実現性	6			
			独創性	2			
	提案課題④ 建設コスト及び維持管理コストの縮減を図るための施設計画		的確性	5	13		
			実現性	6			
独創性			2				
業務工程計画・動員計画				5			
価格点				5			
小 計				75			
評点の合計				100			

# 京都スタジアム(仮称)実施設計等業務に係る 公募型プロポーザル方式における 評価基準の各評価項目の評価方法と評価点の計算方法

## 共通事項

### 1 失格(無効)の判断

提案を失格(無効)とする場合は、募集要領に記載している提出物の応募条件への違反等、次の諸点を勘案して、外部有識者の意見を聴取した上で、京都府が決定する。

- (1) 設計図、模型等、応募条件で禁止されている過大な提出物があった場合
- (2) 提出書類の内容に虚偽の申告があった場合
- (3) 外部有識者や選定会議の構成員等に働きかけ、審査の結果に影響力を行使しようとした場合
- (4) これらと同等と認められる不適当な行為があった場合

### 2 配点について

- (1) 提案課題に係る評価項目については、外部有識者がA、A<sup>-</sup>、B、B<sup>-</sup>、C の評価を行う。
- (2) 客観的評価の各評価事項については、スポーツ施設整備課によってあらかじめA、B、C等の段階評価による評価点の換算又は評価点の積み上げにより評価を行う。
- (3) 評価点の計算は、各項目の配点×評価係数とする。
- (4) 段階評価による評価係数は、以下の通りとする。

客観的評価(担当チームの能力、業務工程計画・動員計画)

: A=1.0、A<sup>-</sup>=0.8、B=0.6、B<sup>-</sup>=0.4、C=0.2

提案課題に係る評価

: A=1.0、A<sup>-</sup>=0.85、B=0.7、B<sup>-</sup>=0.55、C=0.4

## 参加表明書に関する評価

### 1 担当チームの能力

#### (1) 事務所の業務実績

事務所の業務実績については、実績毎に表の評価事項により評価する。

評価点 = 実績1件毎の評価 ((1)①+(1)②+(1)③) を4件合算

区分	規模等	評価点
種別 ①	サッカー場、ラグビー場、アメリカンフットボール場（以下、球技場とする。）、陸上競技場、野球場 ※1	0.4
	その他スポーツ施設	0.2
	スポーツ以外観覧場	0.1
固定席数 ②	20,000席以上	0.4
	10,000席以上20,000席未満	0.3
	10,000席未満	0.2
スタッド屋根の有無③	屋根有り	0.2
	屋根無し	0

・その他スポーツ施設には競馬場、競輪場、競艇場、オートレース場等を含むものとする。

・「屋根有り」の定義は以下による。

球技場、陸上競技場：メインおよびバックスタンド上部に屋根がかかっているもの

野球場：観客席上部の全周に屋根がかかっているもの

・屋根の有無に対する評価については、施設の種別が※1であるものに対してのみ加算するものとし、その他スポーツ施設およびスポーツ以外の観覧場に対しては考慮しない(加算しない)ものとする。

・海外の実績も評価の対象とする。

#### (2) 管理技術者及び主任技術者の業務実績

担当チームの能力を、各担当技術者の資格・経験、業務実績で評価する。

なお、管理技術者及び意匠担当主任技術者については、繁忙度を評価に加える。

#### ア 資格・経験

資格係数に経験年数を乗じた資格・経験係数で評価する。

評価点 = 配点数 × 資格・経験係数に基づく評価係数  
 資格・経験係数 = 技術者資格係数(表1) × 経験年数

##### ①管理技術者

評価事項	資格・経験係数	評価
資格・経験	18.0～	A
	15.0～17.9	B
	～14.9	C

##### ②主任技術者

評価事項	資格・経験係数	評価
資格・経験	15.0～	A
	12.0～14.9	B
	～11.9	C

(表1) 技術者資格係数

技術者 資格係数	資格	資格係数
	一級建築士、建築設備士、技術士	1.0
その他	0.5	

## イ 業務実績

技術者の業務実績の件数及び内容から、5段階（A、A1、B、B1、C）で評価する。

$$\text{評価点} = \text{配点数} \times \text{業務実績係数に基づく評価係数}$$

$$\text{業務実績係数} = \text{業務実績内容係数(表2)} \times \text{業務実績立場係数(表3)}$$

$$+ (\text{表2}) \times (\text{表3}) \cdots \text{件数分}$$

評価事項	業務実績係数	評価
業務実績	2.0以上～	A
	1.7以上2.0未満	A1
	1.4以上1.7未満	B
	1.1以上1.4未満	B1
	1.1未満	C

それぞれの区分係数を足し合わせた数値を内容係数とする。

$$\text{業務実績内容係数} = \text{区分係数①} + \text{区分係数②} + \text{区分係数③}$$

(表2) 業務実績内容係数

区分	規模等	評価点
種別 ①	球技場、陸上競技場、野球場	0.4
	その他スポーツ施設	0.2
	スポーツ以外観覧場	0.1
固定席数 ②	20,000席以上	0.4
	10,000席以上20,000席未満	0.3
	10,000席未満	0.2
スタッド屋根 の有無③	屋根有り	0.2
	屋根無し	0

(表3) 業務実績立場係数

<管理技術者、意匠担当主任技術者の場合>

業務実績に おける立場	業務実績立場	立場係数
	管理技術者、意匠担当主任技術者	1.0
	その他主任技術者、担当技術者	0.5

<構造、電気設備、機械設備担当主任技術者の場合>

業務実績に おける立場	業務実績立場	立場係数
	管理技術者、各担当主任技術者	1.0
	担当技術者	0.5

## ウ 繁忙度

手持ち業務と本件業務との重なり程度を、様式3-2の「現に従事している主な設計業務及び監理業務」欄の記載から3段階（A、B、C）で評価する。

$$\text{評価点} = \text{配点数} \times \text{管理技術者繁忙度評価係数} \\ + \text{配点数} \times \text{意匠担当主任技術者繁忙度評価係数}$$

評価事項	評価内容	評価
管理技術者・意匠 担当主任技術者 の繁忙度	委託期間中を通して手持ち業務との重なりがない。	A
	手持ち業務と重なりが一時ある(委託期間のうち60%未満)が、程度から判断して業務遂行が可能。	B
	委託期間中を通して手持ち業務との重なりがある(委託期間のうち60%以上)。	C

## 2 府内企業

本店等の所在地について、以下のとおり評価する。

府内に本店がある場合	=	3点
府内に支店、営業所等がある場合	=	2点
上記以外	=	1点

## 技術提案書に関する評価

### 1 提案課題に対する評価（外部有識者が評価）

提案課題に対するプレゼンテーション及びヒアリングの結果を踏まえ、以下について5段階（A、A<sup>-</sup>、B、B<sup>-</sup>、C）で評価する。

#### (1) 提案課題に対する評価（外部有識者が評価）

以下に掲げる4つの提案課題に対し、3つの観点から評価する。

#### 【4つの提案課題】

##### 1) 環境にも人にも優しく、人に感動を与えるスタジアム

- ・ 近隣住宅地域への騒音、光害や近隣の地下水位等への環境影響を十分緩和する建築計画
- ・ ユニバーサルデザインに配慮した建築計画
- ・ 臨場感にあふれ、ダイナミックでハイレベルな観戦環境で人に感動を与える建築計画

##### 2) 景観と調和し、京都らしさを持つスタジアム

- ・ 亀岡の田園風景や山並みなど地域の景観と調和した意匠計画
- ・ 「おもてなし」の心が感じられる建築計画

##### 3) 新しいまちのにぎわいに貢献するスタジアムの施設計画

- ・ にぎわい施設計画を踏まえ、地域（亀岡市内外）にある文化、観光、教育資源と連携し相乗効果を生み出す施設計画

##### 4) 建設コスト及び維持管理コストの縮減を図るための施設計画

（ 予定額の範囲内で、最大限施設内容を充実して高品質なスタジアムにする。その中で維持管理コストを低減する工夫を行うものとする。 ）

- ・ 敷地制限及び建設運搬経路を考慮した建設コストの縮減を図るための施設計画
- ・ ライフサイクルコストの縮減を図るための施設計画

#### 【3つの観点】

##### 1) 的確性

- ・ 提案内容について、データに基づいた論理的な説明がなされているか。
- ・ 仕様書等を的確に踏まえ、明確かつ具体的に提案されているか。
- ・ 業務を効果的・効率的に実施するための提案がなされているか。

##### 2) 実現性

- ・ 実施方法等が具体的で、かつ実現性があるか。

##### 3) 独創性

- ・ 提案者の知識や経験を活かした創意工夫が見られるか。



(2) 提案課題に対する全体的な評価

(1) を踏まえ、技術提案全体に対し上記3つの観点から評価する。

評価項目	評価事項	評 価				
		A	A <sup>-</sup>	B	B <sup>-</sup>	C
全体的な評価 及び 4つの課題に 対する評価	的確性	極めて 高い	高い	普通	やや 低い	低い
	実現性					
	独創性					

$$\text{評点数} = \text{配点数} \times \text{段階評価係数}$$

2 業務工程計画・動員計画に対する評価（選定会議構成員が評価）

工程毎に妥当な時間配分や動員が計画されているか、3段階（A、A<sup>1</sup>、B）で評価する。

$$\text{評点数} = \text{配点数} \times \text{業務工程計画・動員計画の妥当性評価}$$

業務工程計画・動員計画の妥当性評価

評価内容	評価
工程計画が妥当であり、かつ、延べ業務用員数において、府で算出した数以上の技術者の動員が計画されている。	A
工程計画が妥当であり、かつ、延べ業務用員数において、府で算出した数の90%以上の技術者の動員が計画されている。	A <sup>1</sup>
工程計画が妥当でない又は延べ業務用員数において、府で算出した数の90%未満の技術者の動員が計画されている。	B

3 価格点

提案価格として、委託業務参考見積価格について評価する。

※提案価格のうち最低価格を満点として評価する。

$$\text{価格点} = \text{満点} \times (\text{提案価格のうち最低価格} / \text{自社の提案価格})$$